

令和6年度第11回男女共同参画推進委員会

日時 令和7年2月20日（木） 午後7時から

場所 碧南市役所 談話室3

参加者 長谷川、齋藤、杉浦、小澤、熊谷、須田、新川、石川、鈴木、尾崎

事務局 水村、角谷

1 フォーラム「元イタメンのしくじり先生から学ぶ！夫婦で取り組む育休・育児のリアル体験談」について

(1) 開催日：令和7年2月2日（日） 13時半～15時半

(2) 会場：碧南市役所 会議室4・5

(3) 司会：小高 直子さん

(4) 講師：伊藤翼さん ご夫婦

(5) 参加者：44名

- ・若い人を呼びたかったので、呼びかけを行った。もっと多くの方にきてもらうためには、宣伝の仕方も検討すべきでは。
- ・講演会の内容は素晴らしかったが、浸透するとなると色々な条件が必要。また、本人のビジョン等も必要になる。
- ・大企業に勤めているからできる点もあった。
- ・伊藤さんは、間に合うお父さんだったと感じる。父親が育休をとり、かえって大変だったという方もいる。
- ・「やらなきゃと感じることは、実は自分がやりたいこと」という言葉に気づかされる部分があった。
- ・託児では、それぞれおやつをもってきてもらうと良いのでは。5歳の子供用のおもちやもあると良い。名札シールがあると良い。
- ・伊藤さんご夫妻はだいぶ慣れており、また資料もわかりやすかった。
- ・参加者の皆さんの感想を見ていると、皆さんの身になるフォーラムだったと思う。
- ・司会者がうまくまとめくださり、わかりやすかった。
- ・参加者は、ご夫妻がどのようにやりとりしているか気になる方が多かった模様。ご夫婦がお互いに助け合っているということがわかった。
- ・参加者の皆さんが、アンケートの感想をしっかりと書いてくださったところに、皆さんがしっかりと聞いてくださっていた、期待してきてくださっていた、感じるものがあったことがわかる。
- ・講演を聞きながら対談という形式が非常にわかりやすかった

2 小学校での出張啓発について

(1) 対象学年・時期

6年生（2クラス）、67名

(2) 開催日

2月12日(水) 5・6時間目(13:50~15:30)

(3) 授業テーマ

固定的な性別役割分担意識(アンコンシャス・バイアス)

- ・自分の子供時代とずいぶん違うなと感じた。自分の意見をはっきり言える、しっかりした子が多い。先生たちは口を挟まず、生徒の意見を尊重していた。
- ・内閣官僚の女性の数は、ちょうど勉強したばかりだったということで、正答率が高かった。
- ・家で料理をしている子が多く、驚いた。男の子も女の子も関係なく料理をしている。

3 令和7年度 男女共同参画推進委員会について

継続の意思を確認した

4 パネル展示について

現在、愛知県女性総合センターよりパネルを借用し、展示を行っている。

→来年度の展示について委員の皆様を選んでいただき、

「男女共同参画のキホン―夫婦編―」、および「データでわかる!愛知の女性」を展示することにする。

5 その他

3月13日(木) 19時から 談話室3 推進委員会